ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

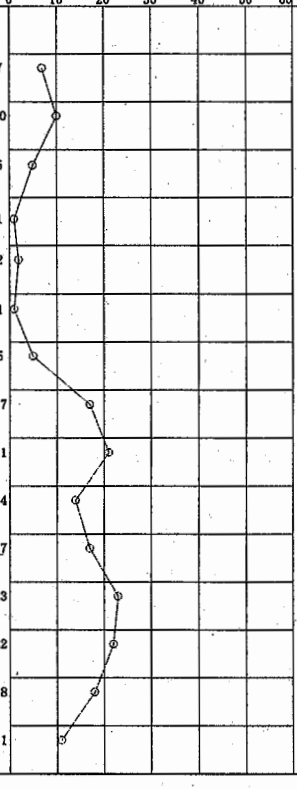
ボーリング名	NO. 1	調査位置	岡崎市中之郷町字下荒子地内			北緯	
発注機関				調査期間	昭和42年12月1日～42年12月2日	東経	
調査業者名		主任技師	瀬井 松見	現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TBM +0.03m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具	
総掘進長	15.45m								エンジン		ポンプ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-0.67	0.70	0.70		農耕土	暗茶灰			
1	-1.62	0.95	1.65		シルト混じり中砂	暗茶灰	緩い		
2					粗砂	淡黄灰			
3	-3.22	1.60	3.25						
4									
5					粘土混じりシルト	暗灰		極軟	
6									
7	-7.12	3.90	7.15						
	-7.77	0.65	7.80		砂質シルト	暗青灰		中位	
8	-8.67	0.90	8.70		粗砂	淡青灰			
9									
10									
11									
12					粗砂	淡青灰	中位		
13									
14									
15	-15.42	6.75	15.45						

孔内水位m／測定月日：0.80 ≡

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
1.15	2	3	2	7 / 30	7
1.45					
2.15	3	4	3	10 / 30	10
2.45					
3.15	2	2	1	5 / 35	5
3.50			15		
4.15	1			1 / 60	1
4.75	60				
5.15	2			2 / 30	2
5.45	30				
6.15	1			1 / 35	1
6.50	35				
7.15	1	2	2	5 / 30	5
7.45					
8.15	5	5	7	17 / 30	17
8.45					
9.15	7	7	7	21 / 30	21
9.45					
10.15	5	4	5	14 / 30	14
10.45					
11.15	5	6	6	17 / 30	17
11.45					
12.15	7	8	8	23 / 30	23
12.45					
13.15	7	7	8	22 / 30	22
13.45					
14.15	6	6	6	18 / 30	18
14.45					
15.15	4	4	3	11 / 30	11
15.45					



原位置試験 深度 m	試験名および結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進 月日